



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 カノークス  
 コード番号 8076 URL <http://www.canox.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高木清秀  
 (氏名) 側島紳司  
 配当支払開始予定日

TEL 052-564-3522  
 2019年6月11日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	124,180	3.9	1,802	0.8	1,929	2.2	1,475	7.6
2018年3月期	119,513	12.4	1,787	△2.8	1,887	△2.9	1,371	△5.7

(注) 包括利益 2019年3月期 1,011百万円 (△44.7%) 2018年3月期 1,829百万円 (11.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	139.39	—	6.6	3.1	1.5
2018年3月期	128.42	—	6.3	3.3	1.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 17百万円 2018年3月期 15百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	61,526	22,465	36.5	2,233.72
2018年3月期	61,673	22,387	36.3	2,096.27

(参考) 自己資本 2019年3月期 22,465百万円 2018年3月期 22,387百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	△1,989	△894	△938	4,487
2018年3月期	331	△13	△450	8,309

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	427	31.1	2.0
2019年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00	383	26.6	1.7
2020年3月期(予想)	—	17.00	—	20.00	37.00		30.1	

2018年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円00銭 記念配当3円00銭(創業120周年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,750	7.0	857	2.9	887	△0.2	608	△0.3	60.45
通期	127,622	2.8	1,760	△2.3	1,810	△6.2	1,235	△16.3	122.79

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	11,103,500 株	2018年3月期	11,103,500 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	1,035,771 株	2018年3月期	423,712 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	10,583,933 株	2018年3月期	10,679,957 株

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	124,127	3.9	1,803	△1.3	1,921	0.2	1,469	4.7
2018年3月期	119,511	12.4	1,826	△0.1	1,917	0.4	1,403	△1.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	138.71	—
2018年3月期	131.27	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2019年3月期	61,178		22,125	36.2			2,197.71	
2018年3月期	61,287		21,966	35.8			2,054.83	

(参考) 自己資本 2019年3月期 22,125百万円 2018年3月期 21,966百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通しと新中期経営計画 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、年央に相次ぐ自然災害の発生で生産・物流などに支障があったものの、高水準の企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に、設備投資の拡大や個人消費の持ち直しの傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、米中貿易摩擦、中国経済の減速、英国のEU離脱問題などの影響により、今後の世界経済の下振れリスクが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境では、わが国の粗鋼生産量は1億289万トンと前期比で1.9%減となりましたが、鋼材市況においては、引き続き上昇基調を維持して推移しました。

このような状況下、当期の業績につきましては、販売面では、数量の増加、単価の上昇により、売上高は1,241億80百万円と前期比3.9%増となりました。利益面におきましては、輸送コストを中心とした販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は18億2百万円(同0.8%増)、経常利益は19億29百万円(同2.2%増)となりました。また、固定資産売却益による特別利益92百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は14億75百万円(同7.6%増)の結果となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当期末における流動資産は513億85百万円となり、前期末に比べ4億4百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少38億22百万円、売上債権(受取手形及び売掛金、電子記録債権)の増加14億21百万円、商品の増加21億63百万円であります。固定資産は101億21百万円となり、前期末に比べ2億64百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加8億73百万円、投資有価証券の時価の下落4億95百万円によるものであります。

この結果、総資産は615億26百万円となり、前期末に比べ1億47百万円減少しました。

#### (負債の部)

当期末における流動負債は329億46百万円となり、前期末に比べ10億5百万円減少しました。また、固定負債は61億14百万円となり、前期末に比べ7億80百万円増加しました。これらは主に長期借入金の借換え10億円によるものであります。

#### (純資産の部)

当期末における純資産は224億65百万円となり、前期末に比べ77百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上14億75百万円、配当金の支払3億95百万円、自己株式の取得5億38百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億77百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.5%(前期末は36.3%)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、44億87百万円(前期末比38億22百万円減少)となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益20億21百万円(前期比17百万円増加)の計上はありましたが、売上債権の増加14億21百万円、たな卸資産の増加21億63百万円、法人税等の納付6億87百万円等による資金減少要因が上回ったため、19億89百万円の資金減少(前期は3億31百万円の資金増加)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入2億39百万円等による資金増加はありましたが、有形固定資産の取得による支出10億98百万円等により、8億94百万円の資金減少(前期は13百万円の資金減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出5億38百万円、配当金の支払による支出3億95百万円により、9億38百万円の資金減少(前期は4億50百万円の資金減少)となりました。

(4) 今後の見通しと新中期経営計画

今後の当社を取り巻く経済環境については、自動車、建築をはじめとした生産活動はここ数年続いてきた堅調さを概ね持続すると予想される一方で、日本国内では人手不足、輸送コストの上昇や原材料アップなど諸経費は構造的に上昇するものと思われます。また米国、中国、欧州を中心とする貿易摩擦、保護主義の強まりは直接、間接的にその影響が下振れ要素として懸念されます。

かかる環境下で、当社グループは経営理念である「お客様に第一に求められる企業」を念頭にそれぞれの事業場において地域経済への貢献を明確なミッションと位置付け、加工機能を強化してより付加価値のあるサービスの向上に取り組んで参ります。

当社グループは当期をもって第8次中期経営計画を定量目標である売上高1,150億円、経常利益18億円をクリアして終了しました。前中計では働き方改革に積極的に取り組むと同時に、グループ会社の社名統一によるブランドを意識した戦略をスタートし、最終年度では長年行ってこなかった新規事業投資に踏み出し、需要家様への機能強化、取引分野の深耕、幅出しを可能とする施策にも着手することができました。

本年度は2019年度から2021年度までの3ヶ年の第9次中期経営計画の初年度となります。新中期経営計画のテーマは「新たな成長に向けて事業基盤の構築」であります。前中計において総額36億円の新規事業を決定し、従来のトレードによる収益に加え、当社自らが加工機能を持った自立型収益モデルに舵を切りました。新中計では東北、東海、九州地区での投資事業の着実な立ち上げと、物流や統一システムへの取り組みを通じた新たな付加価値を市場に提供して参ります。新規事業に関わるコスト先行の新中計となりますが、既存の優良顧客への提案型営業を一層強化して参ります。

2020年3月期における通期の業績については、売上高1,276億22百万円、営業利益17億60百万円、経常利益18億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12億35百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,309,709	4,487,488
受取手形及び売掛金	24,346,784	24,994,199
電子記録債権	8,486,416	9,260,385
商品	10,374,716	12,538,571
前払費用	16,500	19,335
その他	258,762	88,477
貸倒引当金	△3,284	△3,425
流動資産合計	51,789,604	51,385,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	990,914	965,273
機械装置及び運搬具(純額)	181,390	303,843
土地	2,744,637	2,613,918
建設仮勘定	580	871,049
その他(純額)	30,986	67,883
有形固定資産合計	3,948,509	4,821,969
無形固定資産		
ソフトウェア	26,872	20,838
その他	0	0
無形固定資産合計	26,872	20,838
投資その他の資産		
投資有価証券	5,658,969	5,163,789
退職給付に係る資産	111,314	—
長期前払費用	4,597	4,470
その他	123,211	124,597
貸倒引当金	△16,240	△14,320
投資その他の資産合計	5,881,852	5,278,537
固定資産合計	9,857,234	10,121,345
繰延資産		
社債発行費	26,588	19,812
繰延資産合計	26,588	19,812
資産合計	61,673,427	61,526,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,789,523	20,822,803
電子記録債務	2,990,498	2,919,119
短期借入金	8,300,000	8,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	—
未払法人税等	369,273	338,788
賞与引当金	201,480	209,736
未払費用	32,977	31,421
その他	268,510	324,662
流動負債合計	33,952,263	32,946,532
固定負債		
社債	3,500,000	3,500,000
長期借入金	—	1,000,000
退職給付に係る負債	—	59,774
繰延税金負債	1,212,802	909,771
再評価に係る繰延税金負債	529,074	529,074
その他	91,537	115,552
固定負債合計	5,333,413	6,114,171
負債合計	39,285,677	39,060,704
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,310,000	2,310,000
資本剰余金	1,802,656	1,802,656
利益剰余金	15,085,449	15,939,143
自己株式	△246,800	△785,159
株主資本合計	18,951,305	19,266,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,777,948	2,400,582
土地再評価差額金	755,161	981,239
退職給付に係る調整累計額	△96,664	△182,977
その他の包括利益累計額合計	3,436,444	3,198,844
純資産合計	22,387,750	22,465,485
負債純資産合計	61,673,427	61,526,190

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	119,513,289	124,180,070
売上原価	113,378,932	117,866,629
売上総利益	6,134,356	6,313,440
販売費及び一般管理費	4,346,641	4,510,839
営業利益	1,787,715	1,802,601
営業外収益		
受取利息	965	769
受取配当金	145,293	149,550
仕入割引	29,562	31,339
受取賃貸料	47,822	37,612
持分法による投資利益	15,197	17,068
雑収入	21,061	36,110
営業外収益合計	259,903	272,450
営業外費用		
支払利息	45,681	44,583
売上割引	68,495	52,796
賃貸収入原価	27,766	19,913
雑損失	17,689	28,436
営業外費用合計	159,632	145,729
経常利益	1,887,986	1,929,322
特別利益		
固定資産売却益	—	92,379
投資有価証券売却益	139,532	—
特別利益合計	139,532	92,379
特別損失		
固定資産売却損	23,225	—
特別損失合計	23,225	—
税金等調整前当期純利益	2,004,294	2,021,701
法人税、住民税及び事業税	683,935	658,013
法人税等調整額	△51,135	△111,613
法人税等合計	632,800	546,399
当期純利益	1,371,493	1,475,301
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,371,493	1,475,301
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361,742	△375,884
退職給付に係る調整額	96,340	△86,312
持分法適用会社に対する持分相当額	△91	△1,481
その他の包括利益合計	457,990	△463,678
包括利益	1,829,484	1,011,623
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,829,484	1,011,623
非支配株主に係る包括利益	—	—



(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,310,000	1,802,656	14,118,350	△246,510	17,984,496
当期変動額					
剰余金の配当			△448,992		△448,992
親会社株主に帰属する当期純利益			1,371,493		1,371,493
自己株式の取得				△289	△289
土地再評価差額金の取崩			44,597		44,597
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	967,099	△289	966,809
当期末残高	2,310,000	1,802,656	15,085,449	△246,800	18,951,305

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,416,298	799,759	△193,005	3,023,052	21,007,548
当期変動額					
剰余金の配当					△448,992
親会社株主に帰属する当期純利益					1,371,493
自己株式の取得					△289
土地再評価差額金の取崩					44,597
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	361,650	△44,597	96,340	413,392	413,392
当期変動額合計	361,650	△44,597	96,340	413,392	1,380,202
当期末残高	2,777,948	755,161	△96,664	3,436,444	22,387,750

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,310,000	1,802,656	15,085,449	△246,800	18,951,305
当期変動額					
剰余金の配当			△395,529		△395,529
親会社株主に帰属する当期純利益			1,475,301		1,475,301
自己株式の取得				△538,359	△538,359
土地再評価差額金の取崩			△226,078		△226,078
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	853,694	△538,359	315,335
当期末残高	2,310,000	1,802,656	15,939,143	△785,159	19,266,640

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,777,948	755,161	△96,664	3,436,444	22,387,750
当期変動額					
剰余金の配当					△395,529
親会社株主に帰属する当期純利益					1,475,301
自己株式の取得					△538,359
土地再評価差額金の取崩					△226,078
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△377,365	226,078	△86,312	△237,600	△237,600
当期変動額合計	△377,365	226,078	△86,312	△237,600	77,734
当期末残高	2,400,582	981,239	△182,977	3,198,844	22,465,485

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,004,294	2,021,701
減価償却費	138,995	147,739
社債発行費償却	6,776	6,776
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,259	△1,778
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	70,437	△12,367
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	59,774
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,754	8,256
受取利息及び受取配当金	△146,259	△150,319
支払利息	45,681	44,583
持分法による投資損益 (△は益)	△15,197	△17,068
固定資産売却損益 (△は益)	23,225	△92,379
投資有価証券売却損益 (△は益)	△139,532	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,847,452	△1,421,384
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,285,114	△2,163,854
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,494,860	△38,098
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△433,982	168,230
その他の資産の増減額 (△は増加)	15,575	1,887
その他の負債の増減額 (△は減少)	△8,534	28,466
小計	924,266	△1,409,834
利息及び配当金の受取額	149,581	152,728
利息の支払額	△45,727	△44,566
法人税等の支払額	△697,020	△687,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,100	△1,989,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△242,719	△1,098,158
有形固定資産の売却による収入	45,947	239,220
無形固定資産の取得による支出	△8,009	△6,252
投資有価証券の取得による支出	△20,807	△21,814
投資有価証券の売却による収入	203,135	—
長期貸付けによる支出	△2,500	—
長期貸付金の回収による収入	6,646	4,988
その他	4,572	△12,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,733	△894,076
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,000,000
リース債務の返済による支出	△1,329	△4,648
自己株式の増減額 (△は増加)	△289	△538,359
配当金の支払額	△449,029	△395,486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450,649	△938,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△133,282	△3,822,220
現金及び現金同等物の期首残高	8,442,991	8,309,709
現金及び現金同等物の期末残高	8,309,709	4,487,488

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、鉄鋼販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,096.27円	2,233.72円
1株当たり当期純利益金額	128.42円	139.39円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,371,493	1,475,301
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	1,371,493	1,475,301
期中平均株式数(株)	10,679,957	10,583,933

(重要な後発事象)

該当事項はありません。